

◆ わたしの視点 19 ◆

市の行政運営を確かなものに

当然の事ではあるが、村上市の行政に係わる方々は未だに忙しそうである。その中で市長のスケジュールを見てみると、毎日のように会合などへの出席が予定されている。市の関係する団体の式典への出席、地域行事への参加、市内民間団体の総会などへの招請が多くを占めている。市の政策に関わる打ち合わせ・会合らしいものは、庁議や審議会、期成同盟会の総会、要望活動などはあるが、政策遂行に掛ける時間があまりに少ないのではなかろうか。これは、大変な問題であると思っている。合併新市と云う事もあり、市長が様々な場面に顔を出し、市民の合併への不安解消に努める必要もあったでしょう。しかし、いつまでもそんな事を云っている訳には行かない、市長には大切な村上市政に於ける政治のトップとして政策の提案、また、村上市行政のトップとして施策の実行を図る責任がある。より具体的な政策を練る時間と、施策の具体的な展開を図る為に行政の指揮者として為すべき働きがあるのだ。単純に考えて、五つの市町村が合併し誕生した新市に於いて、旧市町村時代からの地域行事などを始めとした、市長、議員が招かれるものの多くを公務として継続していたら、五倍の時間、日程を市長、議員は要する事になる。これは、村上市民にとって不幸な事であると私は思っている。特に、市長の公務と云われるものは数多くありますが、市民に理解を求め、行政職員の協力を得て、もっと市長の仕事を整理し、本当に市民に必要な仕事に集中すべきと考える。言葉が過ぎるかも知れないが、市長・市幹部、市議会議員は端午の節句や町の宴会の武者飾りではない。順風満帆な時代と異なり、村上市の今後には行政職員では決められない、早い政治的判断、政治的決断が必要とされる市民要望や行政案件が増えているはずです。市長、市議会議員は、村上市の過去の歴史、現在、そして将来を見据えた政策提案を行い議論を深め、市民の要望に応えるべく行政をリードし、素早く施策を進めて行かなくては為らない。万が一にも、村上市の行政・政治を差配する政治家が、その事をなおざりにして、市民のご機嫌取りや選挙対策のつもりで、御来賓を気取っているなら、とんでもない話しでなかろうか。来るもの拒まずとは良く云うが、これからは公務とは云え、村上市民の為、今、何を為すべきかの選択をすべきである。限られた時間と市の財政を村上市行政の確かな運営の為、有効に使う事をお願いする。その為に、市長、議員が自分達（市民）の会に来賓として出席出来なくても、村上市の為に尽力している事さえ分かれば、市民も理解を示し、文句など出る筈が無いと私は思っている。間もなく定例議会が開催され、大切な予算を始めとした議案が審議される。まずは市長も市議会議員も議場で互いの政策を述べ、議論を戦わせて頂きたいと願って已まない。